

チーム シン・防災センター(憩いの場所←→最新防災拠点)

構成員

[未来プランナー]

[土木エンジニア]



川戸 亮輔  
周南市立周陽小学校 6年生



池松 建治  
鹿島建設株式会社



福本 正  
西松建設株式会社



小島 文寛  
東急建設株式会社



田中 卓也  
東急建設株式会社



塚原 悌信  
大成建設株式会社



石井 雅子  
鹿島建設株式会社



鎌田 美佳  
東急建設株式会社

概要:

〈未来プランナー〉

災害時、避難所のニュース映像は、苦しい避難生活をしているように見えました。

**平常時**はたくさんの方が憩いの場所として利用でき、

**災害時**には地域に住む人々にとって便利で頼りがいのある施設があったら、

その町に住むことが安心につながると思います。

また、**夏の暑さ**について、自然の力を利用して涼しく快適に過ごすことができないか考えました。

冷たい川の水やひんやりした地下を活用し、周りの自然をなるべく破壊することなく、自然と建物、

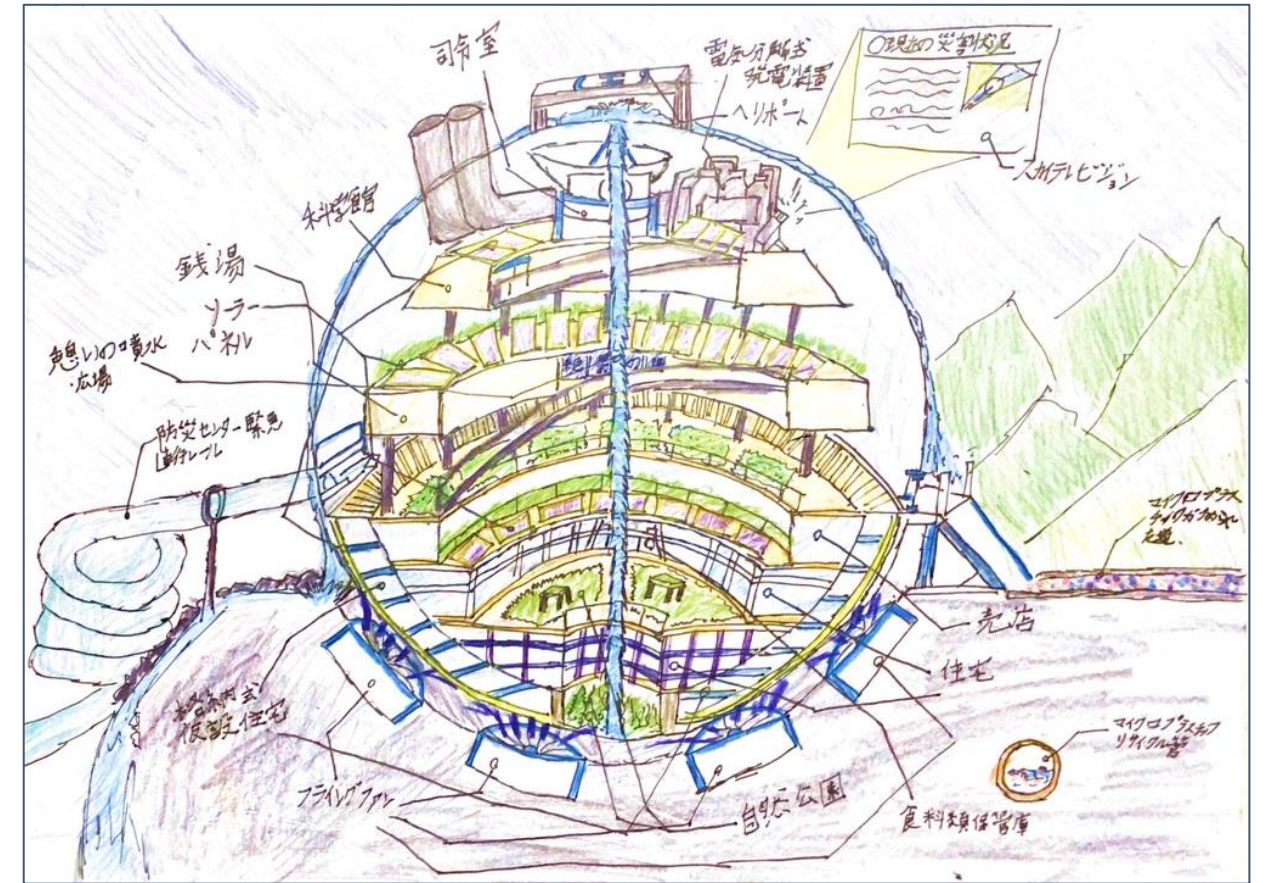
川と人間が仲良くできる仕組みを持った建物を考えました。それが「**シン・防災センター**」です。

〈土木エンジニア〉

**憩いの場所←→最新防災拠点** を両立するためのアイデアについて、技術的検討を行いました。

川戸君のアイデア	土木エンジニアの検討
川の水を利用する、噴水型冷却システム	建物中心にある噴水(給水塔)で外壁に散水し、建物全体を冷却します。
球体で、地震に強い建物	地震時には球体と基礎の間に設置した3次元免震装置が作動します。
自然エネルギーによる発電施設	水力、太陽光、バイオマスエネルギーを活用し、施設内で発電します。
楽しい施設が集まる建物(広場、科学館…)	災害時には、格納式の仮設住宅が展開され、避難所になります。
周辺地域とセンターをつなぐ、モノレール	施設内で発電した電力で駆動、球体のゴンドラに人や物資をのせて運びます。

〈概要図〉



「シン・防災センター」の施設・設備案内

